

避妊移植棒－女性の方々への情報 Contraceptive implants - information for women

避妊移植棒とは？

避妊移植棒(contraceptive implants)は経口避妊薬(ピル)と似た働きをします。ピルに入っているホルモンの一つを含み、これが妊娠を防ぐのです。移植棒の場合にはこのホルモンが経口薬の形ではなく、小さく薄い、柔軟な棒に入っています。この棒は長さ4cmのプラスチック製で、女性の腕の内側の皮膚のすぐ下に移植されます。これはこの移植技術に慣れている医師によって行なわれなければなりません。

避妊移植棒は着実に少量のホルモンを出し、3年間の避妊効果があります。3年後には移植棒を取除かなければなりません。取除き処置に慣れている医師によってなら、いつでも取り出してもらうことができます。

避妊移植棒はどのように作用しますか？

避妊移植棒は次の作用によって避妊効果が得られます：

- 毎月の排卵が止まる。
- 子宮頸部(子宮の入口)にある粘液が濃くなり、精子の侵入や受精が困難になる。

どれほど効果がありますか？

避妊移植棒の避妊効果は99%以上ですが、100パーセント確実な避妊法はないということを忘れないようにしましょう。

避妊移植棒の長所は何ですか？

- 3年間の効果的避妊。
- 毎日、避妊を忘れないようにする必要がない。
- 性交に支障をきたさない。
- 安価

短所は何ですか？

- 避妊移植棒を使う女性は生理に変化がある。ほとんどの女性は移植前より出血量が減るが、生理がより頻繁になったり長くなったりする女性もいる。
- 女性によっては頭痛やにきびなどの副作用が出る場合もある。
- 性交渉による性感染症、HIV/エイズ、B型肝炎から女性を守ることはならない。

受胎能力に影響は？

避妊移植棒はいったん取り出せば受胎能力に影響を及ぼしません。通常、生理は1月以内に正常に戻ります。

避妊移植棒は見えたり、感じたりすることがありますか？

移植棒は皮膚の下に隠されているので見えませんが、移植棒の入っている腕の部分に触ると感じるすることができます。

どのような女性が避妊移植棒を選ぶと考えられますか？

移植棒を選ぶのは次のような女性が考えられます：

- 効果的で長続きする避妊法で、可逆性のあるものを求めている。
- 生理周期が変化してもよいと思っている。

避妊移植棒は特に次のような女性に適切でしょう：

- 経口避妊薬を忘れずに服用することが苦手。
- その他の避妊法を好まなかったり、その効果をあてにできない。
- エストロゲンというホルモンを服用できない。

避妊法にはいろいろなものがあり、避妊移植棒はその一つに過ぎません。どのような避妊法があるのか、自分に最適なものが何かについては医師と相談してください。

避妊移植棒を使えない可能性のある女性は？

次のような方には避妊移植棒が適切でないことがあります：

- 重度の肝臓病を患っている。
- 膣から不正出血がある。
- 避妊移植棒の効果を落とす薬を服用している。
- 血塊がある。
- プロゲステロンというホルモンを服用できない。

避妊移植棒の移植や取除き処置はどのように行なわれますか？

移植棒は局部麻酔で移植され、この処置は約 1 分で済みます。移植棒の取除き処置も局部麻酔で行なわれ、小さな切開口を通して行なわれます。これによって非常に小さな傷跡が残ることがあります。避妊移植棒の移植と取除き処置はこれに慣れている医師によって行なわれなければなりません。移植後は、移植棒を感じることはできますが、見えることはないはずで、移植棒を感じることはできない場合には、医師に見てもらってください。移植棒が確かにあることを医師が確認するまでは、他の避妊法も併用してください。

避妊移植棒は痛いですか？

移植棒の使用には痛みはありません。移植や取除き処置の後には皮膚が少しはれたり、さわると痛いことがあります、これは最高 1 週間ほど続くこともあります。腕に 24 時間包帯を巻いておくと、はれや痛みの軽減に役立ちます。数日間、処置の行なわれた部分に少しかゆみがある場合もあります。移植棒の入っている所の皮膚をこすらないようにすることが大切です。

避妊移植棒の移植について相談できる医師を捜すには？

1300 658 886 の FPA ヘルスラインに連絡しましょう。FPA ヘルスセンターには避妊移植棒の移植ができる医師がいます。FPA ヘルスラインは最寄のセンターや移植棒移植の訓練を受けた医師の連絡先を教えてください。または 02 9754 1322 のマルチカルチュラル・ヘルスサービスに電話をしましょう。

英語で電話をすることが困難な方は、電話 131 450 の翻訳・通訳サービス (TIS: Translating and Interpreting Service) をご利用下さい。

マルチカルチュラル・コミュニケーションのホームページでは、これ以外にも日本語の保健関連情報をご覧いただけます：<http://mhcs.health.nsw.gov.au>

ここに記載された電話番号は本書出版時において正しいものですが、継続的な更新はされませんので、電話案内で確認する必要がある場合もあります。